

中央地区は家族だ!

コロナ禍でも出来る事はあります。
令和3年もコロナに負けずに、
支え合い、助け合い、笑い合い、前向きに!
公民館で行われた行事を写真で報告します★



買い物支援事業
四賀地区のしののめの道バザールを訪問



ふれあい会食会 感染症対策を徹底して開催



利用団体の皆さんと大掃除
会議室の清掃と和室の座布団干し



今や恒例となった朝市
賑いの場となりつつある



クリスマスコンサート
多くの親子連れて楽しみました



多世代交流餅つき大会
杵が重くても頑張ってます!!



門松づくり 有志の皆さんで記念撮影



中央地区合同忘年会
料理は小分け密を避けて開催

★写真は正木君が選ぶ3年間の思い出です★



あつてのものであり、
出来たのは、地域の皆
さんのご理解やご協力
が今日まで行うことが
出来たのは、地域の皆
さんのおかげです。
「昭和の松本を語る
会」では参加者の皆さ
んと一緒に写真を見な
がら大笑いしていたた
めか、松本のまちにや
たら詳しくなったり、
「ようこく朝市・城南
あさ市」では中央地区
にタマゴバブルを巻き
起こしたりと充実した
日々を送ってきました。
こうした活動を、私
が今日まで行うことが
出来たのは、地域の皆
さんのおかげです。

「中央地区は家族だ」
その家族の一員になれ
たとても充実した3年
間をありがとうございました。
地域づくりインターン
正木 輝

長元坊 チョウゲンボウ

感謝の気持ちで
いっぱいです。

こんにちは。地域づ
くりヤングマイスター
です。

もう少し松本に居よ
うと考えていましたが、
お受験に失敗するなど
紆余曲折を経て、春か
らは故郷へ戻ることと
なりました。まだまだ
半人前（※ご飯は二人
前）などところもありま
すが、松本で多くの人
から教わった、仕事の
ことや人との付き合い
方、酒の飲み方、麻雀
やらなにやらを遺憾な
く發揮して、胸を張っ
て故郷を引っ張ってい
けるような活躍ができ
る人になりたいです。

この度、3年間の中
央地区での活動を評価
され、地域づくりヤン
グマイスターに認定し
ていただきました。

町会紹介 北土井尻町

土居尻は、松本城三の丸西南部に位置し、城郭の外を巡る土居の尻にあたる場所である事からこの名がつけられました。藩の中級家臣の屋敷が建ち並んでいた地区になります。（現在は「井」の字が使われています。）

土井尻町会には北・中・南の三町会があり、北土井尻は全戸数44戸の小さな町会です。

中心市街地の空洞化の影響を受け住民の数も減りつつあり、高齢化も進んでいます。まともにも強く、町会レクリエーションや、町会清掃などにコンパクトな運営を行っています。名前に「井」の字が入るよう地下水にも恵まれ、その地下水を利用した銭湯もあり、自分の家の風呂には入らず、ここがいいと言って来る御馴染みさんもいて、住民の憩いの場の一つにもなっています。

北土井尻町 宇留賀 勝

十一月十三日に、私たち緑化福祉委員会で城西花壇の花植え作業に参加しました。

私は開智小学校出身で、学校の行き帰りに城西花壇の前を毎日通っていたので、花を植えに行くことがとても楽しみでした。この花壇には毎年きれいな花が植えてあったので、友達と同じ色の花を探したりして遊んでいた思い出の場所でもありません。

当日は、担当の方から花の植え方や根のほぐし方、土のかぶせ方などを丁寧に教えていただきながら、色

城西花壇の花植え作業に参加して



とりどりのパンジーを植えることができました。この花壇を、地域の皆さんや松本にいらした皆さんの観光客の皆さんに見ていただき、きれいなあと思ってもらえたら嬉しいです。

今回の花植え作業で教えていただいた経験を、丸ノ内中学校での造園活動にも活かし、花いっぱい学校になるように頑張っていきたいと思っています。

このような機会をくださった大手公民館の皆さま、ありがとうございました。

丸ノ内中学校 緑化福祉委員長 中村 美結

中央地区の樹木④

（柎（ヒイラギ））

モクセイ科モクセイ属。関東以西、四国、九州、琉球、台湾などに分布する常



写真は松本城公園内の柎。とがった葉は少なく、ほとんどが丸い葉。

人権啓発 視察研修



資料館での熱心な学習

11月14日、大手公民館主催の人権啓発視察研修に参加させていただきました。富山県立イタイタイイ病資料館を訪れました。

8年前にオープンした新しい施設で、展示も見やすく工夫が凝らされていました。

スタッフの方の説明もあり、この公害病は、神通川上流の三井金属神岡鉱山が、川に排出し

たカドミウムが原因で、水道が設置される昭和30年頃まで、用水を通じて、川の水を稲作ばかりではなく、飲料として使用していた下流の村々で発生した事を知りました。カドミウムが腎臓に障害をおこし、体内に溜めておくべきカルシウムを尿として排出させてしまい、患者は骨折を繰り返し、全身を襲う痛みで苦しめ、衰弱して死を迎えた事や、患者の90%以上が女性で、出産・授乳によりカルシウムが失われやすいためだという事も知りました。

嫁ぎ先の祖母の看病を約10年したという「語り部」さんのお話も伺い、家族の切なさも感じました。

緑小高木。節分にイワシの頭をその枝にさして、家の入口にさす習慣のある地方もある。葉先は牙のように鋭くとがる。しかし古木または上方の枝になると丸みを帯びた葉となる。花は白く、果実はだ円形、紫黒色に熟す。

引用：岡本省吾著『標準原色図鑑全集 第8巻』



とがった葉

丸い葉

松本への帰途では、神岡町で、ノーベル賞を受賞された、小柴・梶田先生方の研究施設スーパーカミオカンデの紹介をする「カミオカラボ」に立ち寄りしました。人の頭大のガラスの球体が、超純水で満たされた巨大ドームに一万個ほど並べられ、ニュートリノの研究をしているそうです。ちょうど、その晩「プラタモリ」で紹介されていて、難しい研究の内容が少し分かりました。

2つの施設の見学を通して、歳はとっても、何かを知る機会を持つ事の大切さを感じさせていただきました。

飯沼 美千子